

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

# よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.57 2012.5.1

菊水福祉のまち推進センター運営委員会  
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10  
電話 011-887-7006 FAX011-811-3831  
URL <http://kikusui-net.jp>



## 福まち通信



挨拶をする細野福まち推進センター運営委員長

## 菊水地区福祉のまち推進センター 運営委員会開催

4月13日午後4時より菊水地区会館において平成24年度の標記運営委員会が開催されました。福まち運営委員、来賓としてまちセン所長と白石区社会福祉協議会事務局次長および次長と担当者、関係機関として白石区第二包括支援センター並びに介護予防センターきくすいの職員などの出席を得て会議が行われました。

福祉のまち推進活動は、地区社協活動の実践組織として住民主体で行われてきました。その運営は、住民組織の役員だけではなく、今や活動の中核となっている「ふれあい交流会給食担当のご婦人たち」や、



「よつクロ編集委員たち」などのボランティアの熱意に支えられています。

会議は平成 23 年度の事業内容や予算の使用状況の報告があり、続いて今年度の事業計画についての発表がありました。特筆すべき



新規事業はありませんが、従来の事業の質的向上、特に町内会・民生委員協議会・青少年育成委員会などとの連携の強化や福祉関係機関との協働が重視されています。



## 福まちの一年をふり返る

福まちの活動は①「ふれあい交流会」のようなイベント事業と②「見守り活動」に代表される日常活動、それに③研修・啓発や情報提供の三つがあります。昨年の活動実績をご紹介します。

### 🌿 医療情報キットの配布と見守り活動

福まち事業として先駆的に取り組んだものに「緊急時医療情報キット」の配布があります。これは右の写真にあるようなプラスチックの筒に、緊急時に役立つ医療情報(病歴、かかりつけ医師、投薬状況、医療保険証写、緊急時連絡先など)を入れて冷蔵庫に保管し、救急隊員が個人の医療情報を容易にまた確実に入手できるためのシステムに使う道具です。

とりあえず一人暮らしの高齢者全世帯を対象に、民生委員、町内会役員(福祉推進員)の手で、一人ひとりにお配りしました。まず高齢者自身に緊急時に備えた「自助」努力を行ってもらい、続いて福まちの活動として日常的な見守り活動を行う「共助」につなげていくのが目的です。



寸劇出演者のカーテンコール

い昼ご飯を頂きながら、参加者同士交流を深めました。午後からは演芸を楽しみました。「リズムファンタジー」の皆さんによるナツメロの演奏会が行われました。「大阪ラブソデー」「湖畔の宿」などが演奏されると参加者の皆さんから手拍子や小さく口ずさむ声が漏れてきます。会場からの飛び入りもあり大いに盛り上がりました。



ある目のぷりんぷりん

### 🌿 高齢者のふれあい交流会

家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、参加者同士の交流と心身のリフレッシュを目的に、年2回開催しています。第1回の内容は、午前中に「健康体操」、「菊子さんに元気度チェックリストが届くの巻」などの寸劇や、保健師さんなどによる「血圧測定や健康相談」が行われました。手づくりコーナーでは簡単な工作で「携帯電話スタンド」作りに挑戦しました。お昼にはボランティアのご婦人たち手づくりの美味しい



リズムファンタジーの演奏

### 🌿 子育て支援事業(子育てサロン)

子育てサロンは、0歳から小学校就学前までのお子さんと保護者の方が自由に集い、あそび、交流できる場です。

菊水地区には菊水やよい児童会館において行う公的子育てサロンのほかに、地域で運営している子育てサロンが三つあります。そのうちの一つである上白石小学校を主会場として



行う子育てサロン「ぷりんぷりん」に対して運営費の補助を行っています。このサロンは地域のボランティア団体が上白石小学校との共催で行っており、小学生も参加するユニークな運営方法をとっています。

## 🍀 福まち研修会事業

福まち役員、ボランティアや民生委員などを対象に、福まち活動を進める上で必要な基礎知識を習得するための研修を年2回行いました。

1回目は「東日本大震災被災地での支援体験報告」、2回目は「誰もが孤立せずにお互いに支えあうやさしい街づくりの実現に向けて」をテーマに社会福祉協議会の職員を講師に実施しました。



## 🍀 広報・啓発事業

月刊福まち通信「よつ葉のクローバー」は、前年度には44号から55号を発行しました。愛称「よつクロ」は、福まち活動を広くお知らせする情報紙として800部印刷し、町内会回覧により皆さんに見ていただいています。そのほか地域内の福祉関係施設や団体に配布しています。菊水地区のホームページや白石区のホームページにも掲載しパソコンで見ることできます。

菊水地区のホームページは2年前の秋に公開されましたが、内容が充実していると好評をいただいています。

## 🍀 お年寄りとおどもの交流会

地域でのお年寄りとおどもたちが、「輪投げ」や「ボウリング」などの遊びを通じて交流を深めています。

右の写真は、用意された「知恵の輪」で参加した高齢者と子どもが楽しく遊んでいるスナップです。

実施主体はネットワーク会議の福祉部ですが、福まちとしても地区子供会、やよい児童会館などと一緒にお手伝いさせていただきます。



## 🍀 いきいき・すこやかサロン



福まち事業の一つとして、地域の高齢者が気軽に楽しく仲間作りができるサロンの開設を進めています。

菊水地区のサロン第1号として「お茶の間サロン・チャオ」が平成20年9月に開設されていますが、これに引き続き22年12月に「すこやかサロンP・G」が、23年の3月には「サロン四ツ葉」が開設されています。

# ハートの家地域運営推進会議

3月22日グループホーム「ハートの家伍番館」で、標記の会議が開催されました。地域に住む利用者の皆さんが安心・安全に暮らすことができるよう、施設運営者、利用者家族、地域住民代表、それに関係支援機関が集まって会議を行っています。

この日は施設側から防火訓練の結果や施設運営内容の説明があり、その後地域住民との交流が大変うまくいっている状況や、今年の計画として利用者による散歩をかねた近所のごみ拾いの計画についての話がありました。





# サロン開設のお誘い

「ふれあい・いきいきサロン」とは、地域の中で、住民である当事者とボランティアとが協働で企画し、内容を決めて運営していく楽しい仲間作りの活動です。

札幌市では、社会福祉協議会がこの活動を支援し、現在市内には500を超えるサロンがあります。菊水地区には前ページで紹介した三つのサロンがありますが、身近なところで高齢者が歩いて行けるといふ条件を考えると、もう少しサロンが増えることが望めます。

地区会館やマンションなどの集会室、それに少し広いお茶の間などを利用してサロンを開いてみませんか。



ある日のサロン風景です。キーボードの伴奏に合わせて皆で唱歌を歌っています。



折り紙教室



みんなで飾り付けをしてワインで乾杯をしました。

## 参考までに菊水西地区で行っている「お茶の間サロン・チャオ」の活動の状況をお知らせします。

会場 ボランティアの自宅  
 開催頻度 月2回第2第4木曜日  
 開催時間 午後2時から4時まで  
 参加費用 茶菓代1回100円  
 開催内容

お菓子を食べお茶を飲みながらの楽しいおしゃべりを中心に、ビデオ鑑賞、キーボードの伴奏で童謡・唱歌の斉唱、カラオケなどが一般的な行事になります。

繰り返して厭きがこないように、「転倒予防」「振り込め詐欺予防」などの勉強会をしたり、「折り紙教室」などを専門家のご協力で開きます。季節の行事としては、春のジングスカンパーティーやクリスマスパーティーがあります。

※ サロン開設については、白石社協で教えてくれますが、一足先に行っている「お茶の間サロン・チャオ」代表枝元政肇(電話 822-7998)



庭でジングスカンパーティーを楽しむ

お問い合わせください。開催準備のノウハウお話をできます。

4月1日付けの社協の異動で千葉局長の後任で白石区社会福祉協議会事務局局長として着任いたしました渡辺です。昨今は無縁社会といわれる風潮ですが、昨年の東日本大震災では欧米のマスコミから絶賛されたように日本人の助け合いの精神は健在です。これらを踏まえて、私どもも皆様と一緒に汗をかきながら地域の実情を理解しながら菊水地区の地域福祉の充実化に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

白石区社会福祉協議会事務局

渡辺 彰恭



この度、4月1日から白石区社会福祉協議会事務局職員に就任いたしました。社協勤務歴も20年を越えた中で、直接的に白石区とご縁をいただく初めての機会となりました。大変、新鮮な印象を感じております。

同時に、何かと不慣れのためご指導・ご協力をいただく機会が、多々あるかと存じます。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。

白石区社会福祉協議会

石川 晴海



## 編集後記

春は出会いと別れのときでもあります。お世話になった白石区役所の高川部長さんが異動しましたし、白石区社協の千葉局長さんと竹内職員もいなくなりました。その後任として秋川保健福祉部長さんや社協には左のお二人が着任しています。

それぞれの方にはこれからお世話になることとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

臨時に編集を担当しましたが私もこれでお別れです。

枝元編集委員